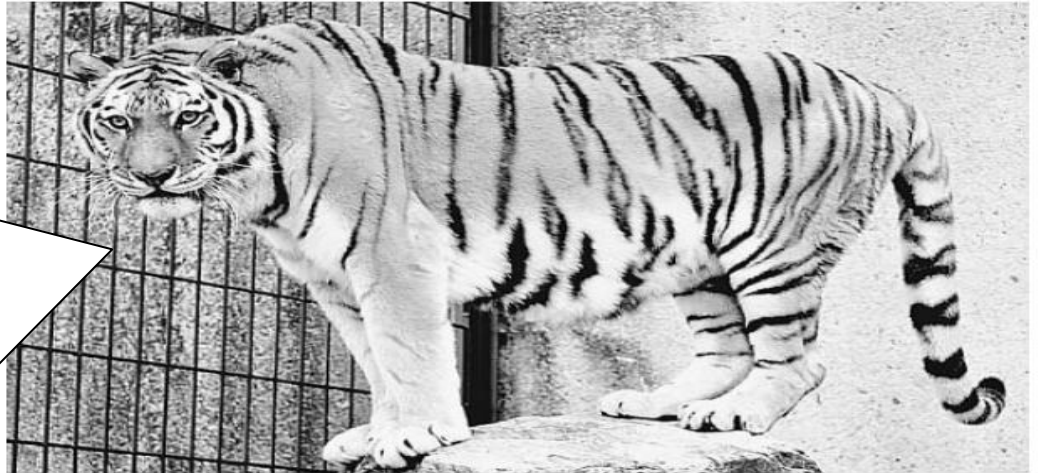


国内最高齢の19歳で死んだアムールトラ「ルビリン」
—2009年（東山動物園提供）



「ルビリン」死ぬ 国内最高齢のアムールトラ

名古屋市の東山動物園は20日、飼育していた国内最高齢のアムールトラ「ルビリン」（雌、19歳）が死んだと発表した。同動物園によると、人間の年齢に換算すると90～100歳で、死因は老衰。

ルビリンは、1992年にデンマークの動物園で生まれ、95年に東山動物園に来園。7頭の子どもを出産し「子だくさんのトラ」として知られた。国内で3頭の子どもと6頭の孫が飼育されている。

ルビリンは、今年6月ごろから足腰が弱り始めた。今月2日から食欲が減退、19日朝から呼吸に異常が見られ、獣医師が治療したが、20日朝に出勤した飼育担当者が死んでいるのを見つけた。

(2011年11月21日付 23面)

☆ルビリンが人間でいうと95歳だったとすると、トラは1年で人間の何年分成長するのかな？計算してみよう。

☆記事を読み、ふきだしにセリフをいれましょう。

年 組 名前